

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (1/3)

学部・学科	総合社会学部・総合社会学科	職名	教授	氏名	カシ 岡 富 英
学歴	昭和48年 3月 関西学院大学経済学部卒業 昭和50年 3月 関西学院大学大学院社会学研究科修士課程社会学専攻修了(社会学修士) 昭和53年 5月 米国デューク大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学 昭和57年 9月 米国デューク大学大学院社会学研究科博士課程修了(Ph.D.)				
学位	昭和50年 3月 社会学修士(関西学院大学) 昭和57年 9月 Ph.D.(デューク大学)				
専門分野	社会学				
専門資格	Ph.D.				
所属学会	昭和50年 5月 関西社会学会会員 昭和55年 5月 日本社会学会会員 昭和62年 5月 比較文明学会会員 平成12年 5月 ヒトと動物の関係学会会員				
受賞					
担当 授業科目	学 部(総合社会学部) 社会学概論、ガバナンス論、初年次演習、総合社会学基礎演習、現代社会研究演習 ・ 、 総合社会学演習 ・				
論文指導	卒業論文 5名				
F D 活 動 ・ 教 育 実 績	科目名	科目カテゴリー	実施学期	履修者数	
	社会学概論	講義・演習・実習・実験	春・秋	約140名	
	授業の概要：テキストに沿って講義するほか、毎回資料を配布して、社会学のテーマと学生の日常生活との関連性を追及する。				
	教育活動の振り返り 教育活動の成果： 毎回の講義にあたり、テキストの該当部分について「予習レポート」を義務づけ、また授業終盤の20分を「復習レポート」の作成にあてた。すなわち学生はテキストを3度読むことになり、学習成果が向上した。 今後の課題： 大人数の授業ゆえ、レポートのチェックシステムに工夫が必要。				
	・学内外のFD関連講演会/セミナー等への参加実績 特になし。 ・教育効果が高い、あるいは教育の一環として行われている課外活動等 卒業論文作成にあたって、全員参加の授業のほか、進捗状況を逐一メールにて報告させ、それに基づいてサブゼミを行った。				
H26 年度 研究課題	1. Edward Tiryakian の著作集を編纂する 2. Robert Nisbetの <i>Sociology as an Art Form</i> (Oxford University Press, 1976)を出発点として文芸の社会学の基本枠組みを構築する				
研究活動の概要 (平成二十六年(2014)年度の概要)	Tiryakian本人が来日したので、著作集編纂の状況を報告し、また不明な箇所や問題点について直接討論した。Nisbetについては、日本語訳の出版を企画するに至った。				

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (2/3)

<p>平成二十六(2014)年度の 主な研究成果等</p>	(著書)
	(論文)
	(学会報告、学会活動)
	(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)
	(調査活動) 平成27年2月 九州大学名誉教授・藪野祐三氏にグローバル時代の「国境」につきインタビューし、意見を交換した。
	(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含む) (学内活動) 国際交流委員会委員、「人を対象とする研究」倫理審査委員会委員
<p>平成二十六年(2014)年度の 社会における活動</p>	(NPO 法人等の団体への参画) ・ 公益財団法人 奈良屋記念杉本家保存会 評議員「平 14 より」
<p>平成二十一～二十五(2009～2013)年度の 主な研究成果等</p>	(著書)
	(論文) 1. 「社会学における比較文明論の系譜」、単著、平成22年11月、比較文明学会 比較文明第25号 (2009)(pp.93-110)
	(学会報告、学会活動)
	(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等) 学術講演： 1. 「浮世絵春画はおもしろい」(コーディネーター、座談会司会) 共同、平成24年12月、京都文教大学人間学研究所主催 公開シンポジウム「人類の始まりと日本人の性文化」、キャンパスプラザ京都 エッセイ： 1. 「不思議の国アメリカ：『まつりごと』あるいは『集団的熱狂』について」、単著、平成21年7月、京の発言出版、京の発言第12号 (pp.64-68) 2. 「不思議の国アメリカ：郊外というコミュニケーション」、単著、平成21年9月、京の発言出版、京の発言第13号 (pp.70-73) その他： 1. 「拝啓 親愛なるレイコさま」、単著、平成24年11月、京都文教大学図書館 あーゆす第27号 (pp.1-2)
	(調査活動)
	(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含む)
	(学内活動) 平成20年 4月 図書館長「平22.3まで」 図書館・情報委員会委員「平22.3まで」 研究成果刊行助成委員会委員「平22.3まで」 平成21年 4月 自己点検・評価委員会委員「平26.3まで」 大学運営会議委員「平25.3まで」 海外出張助成調整委員会委員「平22.3まで」 平成22年 4月 人間学部長「平24.3まで」 大学教学会議委員「平24.3まで」 広報委員会委員「平24.3まで」 自己点検・評価 管理運営専門委員会委員「平24.3まで」 危機管理委員会委員「平24.3まで」 FD委員会委員「平24.3まで」

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (3/3)

<p>平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の 主な研究成果等</p>	<p>(学内活動 つづき)</p> <p>平成22年 4月 人事委員会委員「平24.3まで」 入試委員会委員「平24.3まで」</p> <p>平成23年 4月 キャンパス・ハラスメント防止対策委員会委員「平24.3まで」</p> <p>平成24年 4月 図書館長「平26.3まで」 図書館・情報委員会委員「平26.3まで」</p>
<p>平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の 社会における活動</p>	<p>(NPO法人等の団体への参画)</p> <p>平成14年 財団法人(現・公益財団法人) 奈良屋記念杉本家保存会 評議員 「現在に至る」</p> <p>平成16年 2月 NPO法人「エルダーホステル」常任理事「平22.12まで」</p>